

② 計 算 例

(各年齢については、入居可能日を基準日とする。)

■以下は **ア**年金 **イ**給与 **ウ**事業ごとの収入計算の具体例を挙げておきます。

計算の参考にして下さい。

計算例中の①～④は14ページから15ページの手順に相当します。

ア 年金の方の例

例：申込本人70歳、妻68歳の夫婦の場合

① まず、収入の種類を確認します

本人 → 厚生年金

妻 → 国民年金

原爆被爆者手当 (収入計算の対象となりません。詳しくは、11ページをご覧ください。)

② 必要な収入証明をそろえます

本人 → 厚生年金平成29年分源泉徴収票

妻 → 国民年金平成29年分源泉徴収票

※源泉徴収票がない場合は改定通知書、支払通知書から平成29年分の収入を計算します。

※平成29年の途中から年金を受給した方は、年金額決定通知書から計算します。

③ 年収額をだします

本人 → 3,123,000円 (源泉徴収票の支払金額)

妻 → 591,500円 ()

④ 年金なので端数整理はしません

⑤ 年収から所得を計算します

本人 → 3,123,000円 - 1,200,000円 = 1,923,000円

妻 → 0円

⑥ 控除額を計算します

同居者控除 380,000円 × 1人 = 380,000円

控除額合計 380,000円

世帯の月収額を計算します

本人の所得金額 家族の所得金額 控除額合計 世帯の月収額
(1,923,000円 + 0円 - 380,000円) ÷ 12 = 128,583円 → 申込資格有

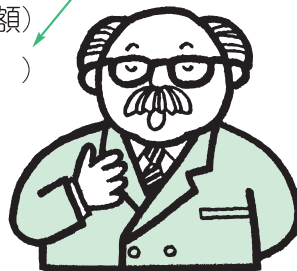
収入証明の例・本人

平成29年分 公的年金等の源泉徴収票

種別	支払金額 (平成29年度中に支払った金額)			源泉徴収税額		
年金	3,123,000					
申告書の提出	本人	人		控除対象配偶者の有無等		
有	無	特別障害者	その他の障害者	有	無	老人控除対象配偶者の有無
	*				有	無
扶養親族の数				障害者の数(本人以外)		
特 定	老 人	その他		特 別	そ の 他	
人	人	人		人	人	
0	0	0		0	0	
年金の種類別				生 年 月 日		
				年 月 日		
老齢厚生年金						
(摘要)						

妻 平成29年分 公的年金等の源泉徴収票

種別	支払金額 (平成29年度中に支払った金額)		源泉徴収税額				
年金	591,500						
申告書の提出		本人	控除対象配偶者の有無等				
有	無	特別障害者	その他の障害者	有	無	老人控除対象配偶者の有無	
	*					有	無
扶養親族の数				障害者の数(本人以外)			
特定	老人	その他	特別	その他			
人	人	人	人	人			
0	0	0	0	0	0		
年金の種類別			生年 月 日				
老齢基礎年金							
(摘要)							



年金は、65才以上の方とそうでない方とでは、計算方法がちがいます。